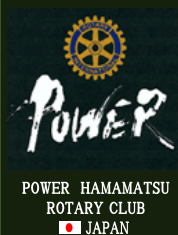


国際ロータリー第2620地区
静岡第5グループ



週報 パワー浜松ロータリークラブ

共感の架け橋、慈愛の奉仕

RI 会長 杉山・ハム・パ・ロ / 第 2620 地区ガバナー 若林秀典 / 会長 華岡博之 / 幹事 松本由紀彦
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立: 2002 年 10 月 22 日 認証伝達式: 2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ: 浜松中 R C

持続可能な
インパクトを
生み出そう



Rotary

第1063回例会8月25日(火)AM7:30~8:30

- 会場: オークラクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会: 鷺津有一 安間利広
- 点鐘: 華岡博之
- 週報: 有馬裕樹
- ロータリーソング: 「夢のみずうみ」
- ゲスト: 2026-27 年度 青少年交換学生 レオニー・オリビアさん

出席報告/スマイル報告

会員数 71 名 (内出席免除会員 1 名)
出席数 53 名 出席率 75.71%

スマイル提出者氏名掲載
青少年育成委員会
華岡会長・松本幹事 鈴木小織さん

会長挨拶 会長 華岡博之



皆さんおはようございます。本日の例会は、会長として 6 回目の挨拶となります。私にとっても楽しみにしていた例会です。今年度、パワー浜松ロータリークラブでは、南フランスからの交換留学生レオニー・オリビアさんを一年間お迎えします。レオニーさん、ようこそ浜松へ。

少しフランス語で歓迎の言葉を。ビアンヴニユ、ハママツ。ロータリークラブへようこそ。青少年交換は単なる留学ではありません。海外で生活し、語学を磨き、日本について学ぶ貴重な機会です。ぜひ会員の皆さま、家庭での受け入れや外出の際のお誘いなど、温かいご支援をお願いします。異なる文化や価値観を理解し、尊重しながら友情を育むことは、ロータリーが長年大切にしてきた平和への取り組みの一つです。

言葉や文化、宗教、考え方が違って、相手を理解しようとする気持ちがあれば、人は必ず心を通わせることができます。レオニーさんには、この一年で日本の文化や生活に触れるとともに、日本の人々の温かさをたくさん感じていただきたいと思います。そして私たちも、レオニーさんからフランスの文化や考え方を学び、互いに成長できる一年にしていきたいと思います。一年間のホームステイをお引き受けくださるホストファミリーの皆さまに、心より感謝申し上げます。この後、レオニーさんから自己紹介と挨拶があります。緊張しているとのことですので、会員の皆さまは温かい笑顔でお迎えください。皆さんの笑顔が、レオニーさんに「浜松に来てよかった、日本に来てよかった」と感じてもらえる大きな力になるはずです。

最後に一言。国境は地図の上にあります。しかし、友情には国境がありません。今回の交換事業を支えてくださっている長谷川委員長をはじめ、ホスト会員の皆さまに改めて感謝申し上げます。皆さまの献身的なご尽力があるからこそ、この素晴らしい国際交流が実現しています。どうか一年後レオニーさんが「日本は第二の故郷です」と笑顔で帰国できるよう、クラブ全員で温かく支えていきたいと思います。本日もどうぞよろしくお願いします。

幹事報告 幹事 松本由紀彦



- ① 第 2 回役員理事会について
例会終了後、メイフェアの間にて第 2 回役員理事会を開催いたします。
- ② ガバナーとの懇談会について
9 月 1 日のガバナー公式訪問に伴い、例会終了後に新入会員との交流会があります。本日関係会員の方には出欠をとりましたのでよろしくお願い致します。
- ③ 長期派遣候補学生面接選考試験及び青少年交換長期受入学生研修会について
8 月 23 日に上記選考試験及び受入学生研修会が行われました。次年度の送りだしもほぼ確定だと思います。会長幹事会でも同様な報告をさせて頂きました。

委員会報告 ゴルフ同好会

9 月 27 日(日)に浜名湖カントリークラブで青空大会を開催します。現在 15 名の参加予定です。特に最近入会された方、各枠の皆さまも、ぜひご参加ください。交流の良い機会ですので、気軽に挑戦していただければと思います。さらに、第 5 グループ親睦ゴルフは 11 月 7 日(土)に開催予定です。5 名以上の参加で団体戦の出場権が得られます。多くのメンバーで参加し、優勝を目指しましょう。

長く準備してきた青少年交換事業ですが、8月20日にレオニーさんが来日しました。昨日、内山紗良さんがフランスへ旅立ちました。今回、フランスの受け入れでは日本人は紗良さん一人、アジアからは台湾の学生2人で、他はアメリカと中南米が中心とのこと。紗良さんの近況は月次レポートで共有します。

■レオニーさんの卓説



フランス南部のトゥールーズ出身、15歳です。フランスは歴史と文化が豊かで、世界に影響を与えてきた国です。生まれ育ちはトゥールーズで、カナダに3年間、その後ピレネーの山で1年過ごしました。トゥールーズの街では、川沿いで食事をしたりくつろいだりするのが日常です。食文化については、食前にチーズやオリーブなどを楽しむ習慣があり、夕食はゆっくり時間をかけます。パンやチーズの種類も豊富で、北部では「パン・オ・ショコラ」、南部では「ショコラティン」と呼び名が分かれ、ちょっとした話題になります。なお、フレンチフライはフランス発祥ではなく、ベルギーの料理です。



友人たちは多文化な背景を持っています。シンガポール、ベトナム、ドイツ、スペイン、カナダ、イギリスなど、多様なルーツが混ざり合う環境です。学校は私立で、カーニバルでは仮装が許され、サメの仮装で一等賞を取りました。交換準備期間中は、地区のインバウンド学生と交流し、料理や小旅行、山や海でのイベントに参加しました。

通っていた学校は創立152年の歴史を持ち、幼稚園から高等教育準備課程まであり、寄宿舎も併設しています。戦時中は傷痍軍人の病院として使われていました。校舎はハリー・ポッターのホグワーツのようだと感じるほど由緒ある建物です。

家族は大所帯で、近い家族のほか、いとこが16人、親族全体で34人います。カナダにいた頃はナイアガラの滝も訪れました。スポーツはフリーライド（バックカントリーのスキー・スノーボード）を中心に取り組み、競技にも参加しています。将来はプロを目指したいとも考えています。

家族は大所帯で、近い家族のほか、いとこが16人、親族全体で34人います。カナダにいた頃はナイアガラの滝も訪れました。スポーツはフリーライド（バックカントリーのスキー・スノーボード）を中心に取り組み、競技にも参加しています。将来はプロを目指したいとも考えています。

■質疑応答

なぜ日本を選んだのかという質問には、食文化や伝統文化、そしてアニメなどへの関心がきっかけだったと回答。今年2月から日本語学習を開始し、日本とトゥールーズの交流団体で学んでいます。日本でやりたいことは、さまざまな料理を試すこと、東京（渋谷・秋葉原・新宿）、京都、大阪、沖縄などの観光、そして北海道や長野でのスノーボードです。周囲のプロスノーボーダーの家族から、日本の雪質や景観の素晴らしさを聞き、強い憧れを持っています。

■今後の予定

8月30日（日）は行事参加、その後も地区の集まりに参加します。10月24日・25日の地区大会には宿泊で参加します。9月27日には三保の松原の清掃事業に参加予定。月に1回程度、地区の研修に呼ばれます。学校の体育祭は9月25日で、しばらくはその準備で忙しくなります。例会には月1回以上の参加を予定しています。今後、日本語も上達していくと思いますので、ぜひ積極的に日本語で話しかけてください。以上です。ありがとうございました。

